

1

JSTO月例会セミナー 「訪日市場の最新動向2024」～ベトナム・オーストラリア・中国～



インバウンドセミナー&交流会

JSTO月例会

5/16 (木) 10:00～11:00

会員限定

訪日市場の最新動向2024

～ベトナム・オーストラリア・中国～



登壇 JNTOハノイ事務所所長 吉田憲司氏 SAKURA TV代表 関川まさ氏 株式会社BRAND JAPAN 代表取締役社長 李思萱氏

登壇: JNTOハノイ事務所所長 吉田憲司氏 (ベトナム)
SAKURA TV代表 関川まさ氏 (オーストラリア)
株式会社BRAND JAPAN代表取締役社長 李思萱氏 (中国)

各国のリアルな現状

オーストラリア国内状況(関川氏談)

- ・急激な物価高。時給の最低賃金が約2450円、カップラーメンが1000円、1億円を下回る家がない。
- ・物価高と賃金高で経済的には芳しくない
- ・国は観光収入を重要視。アウトバウンドよりインバウンドで、政府の補助金も優先されている。
- ・オーストラリアへの旅行客は、物価高でおどろく。物価高が落ち着かないと、国が力を入れていてもインバウンドがコロナ前にもどることは難しい。
- ・為替が海外旅行する際の最重要課題。

ベトナム国内状況(吉田氏談)

- ・国内景気はコロナ明けはよかったが昨年途中くらいから世界的な需要の落ち込みを受けてきた。
- ・政治体制の意思決定が速い。消費税の減額も1、2週間で実施、現場の混乱はあるがトップはやると決めたらやる、それに周りも従う。この動きにより景気も回復。
- ・人口構成が20代が一番多いきれいなピラミッド型。
- ・世界的な物価高の中、ベトナムはまだパインミーなど食事は200円程度で美味しく食べられるので旅行先としての希少性が高まっている。

・国も誘客に力を入れていて毎月150万人が他国から観光にきていて順調に伸びているが、ライバルのタイや韓国をみるとまだ少ない。日本人に対してもっと来てほしいと思っている。

中国国内状況(李氏談)

- ・商業施設、リアル店舗がガラガラなので不景気にみえるがオンラインでのITビジネスは好調。コロナからオンラインで買う流れが大きくなってきている
- ・全体的に治安がよくなってきた。セキュリティが厳しくなったともいえるが中国でスリなどの犯罪がなくなった。
- ・北京、上海は衛生や景観について厳しく取り締まっていて町にゴミが見あたらない。
- ・車、電化製品、IT企業、旅行業が復活してきていて、旅行業も海外の観光客を受け入れる業者が復活してきている。

訪日の動機～日本のどこに魅力を感じているか～ オーストラリア

- ・オーストラリアは「北に行くのがホリデー」の意識で、地球儀の北に位置する日本はどうしても目が行く国。
- ・行って、さわってみて食べてが好きで国民性。興味があれば全国隅々まで行く。新潟の稲刈りツアー、錦鯉の里、日本酒の蔵訪問など人気。

ベトナム

- ・昨年の訪日人数は過去最多だったが、50%は実習生など。観光客は30%とまだ少ない。
- ・憧れの日本の意識。日本を代表するゴールドルーツが好き。

中国

- ・日本＝買い物の意識は変わらないが、爆買いから付加価値、文化を感じる商品へ意識が変化。
- ・日本に行かないと買えないものが人気。

アンケートからの質問

「本日李さんがプチ富裕層の訪日客が増えていると言われていましたが、富裕層、プチ富裕層の違い、プチ富裕層の定義を教えてくださいたいです。」
HPで李さんがお答えしています！

3

JSTOからのお知らせ

(1)6/19(水)JSTO総会

会員の皆さまに招待メールを送信済。出欠のお返事をお知らせください。

(2)JSTOメルマガが変わります

JSTOメルマガとおもてなし事業者メルマガが合併・毎月26日発行に変更。
会員限定の有益な情報をのせたメルマガを毎月第3月曜に発行スタート。

4

次回の月例会開催予告

申込・詳細は下記URLから

<https://jsto.or.jp/news/info-240718/>



インバウンドセミナー&交流会

JSTO月例会

7/18 (木) 10:00～11:00

参加自由

訪日需要のトレンド2024 需要回復期からニューノーマルへ

登壇 株式会社JTB総合研究所 フェロー 黒須 宏志氏

